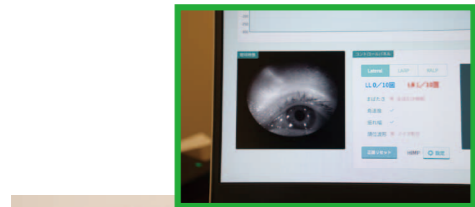
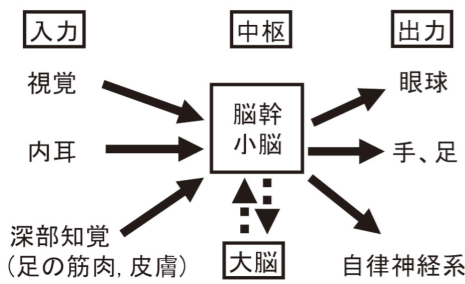


図3 からだのバランスのしくみ



ゴーグルを装着し、三半規管機能を波形でチェックできるビデオヘッドインパルス

「持続性知覚性姿勢誘発めまい」も2017年に診断基準が策定され、原因や治療法が解明された。ほぼ一日中体がフワフワ浮くような浮動性めまいが、3か月以上も続く。同院のめまい疾患では6%強だが、ドイツでは「良性発作性頭位めまい症」に次いで2番目に多く、今後日本でも増えていくと考えられる。

なぜ起きるのか。そもそも人間は、体のバランスを取るための情報を、眼・内耳・足という3つの器官から主に得ている(図3)。しかしめまいの病気がかかって慢性化すると、内耳の力が低下し、耳からの情報が入りにくくなる。すると眼と足からの情報に過剰に依存してしまう。このため眼と足からの刺激(体の動き)に対し、体が過剰に反応し、

原因が解明！ フワフワ浮くめまいの原因が解明！

「高性能な測定器や治療器で正確な診断・治療を！」

「前庭神経炎」の診断には、温度刺激検査や、同院に導入されたビデオヘッド

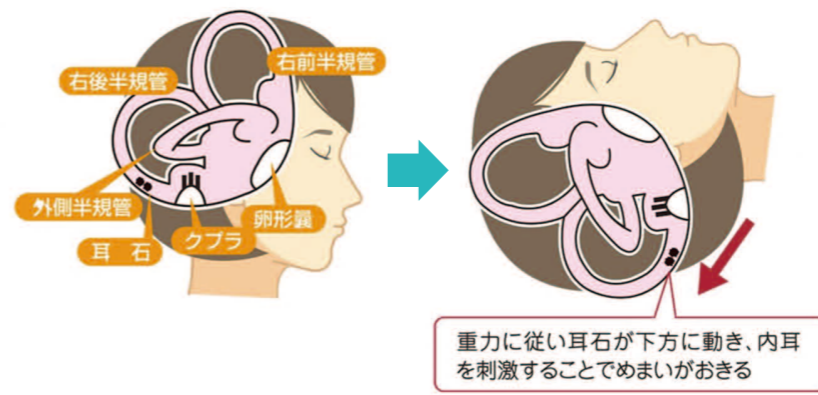
「めまいを伴う突発性難聴」は早期治療することで後遺症としての難聴を防ぐ必要がある。突発性難聴は2週間以内の治療開始が必要とされている。重症の難聴には高気圧酸素療法が有効。「近年、正確なめまいの診断と、適切な治療が確立しつつあります。めまい専門の医師として、新しい機械や治療法を導入し、患者さんが満足される医療を提供していきたいですね」と院長は語る。

インパルス検査(VHIT)を使う。被験者は、専用ゴーグルを装着。頭を左右などに急速に動かした際の眼球の動きを、医師が計測・解析することで、めまい発生原因の一つである左右の三半規管の機能を個別に測定、機能評価ができる。イスに座って手軽に診断できるので、患者さんの不安軽減につながる。波形で三半規管の機能を定量化でき、治療の成果も正確に追跡することが可能。原因を見極め、適切な治療を行わないと後遺症が残る、前述した慢性めまいの一つである「持続性知覚性姿勢誘発めまい」に移行する危険性も考えられる。



カプセル型の高気圧酸素療法装置は、重症の難聴に有効

図2 良性発作性頭位めまい症の病態



診断は、眼の動きをみる検査と問診による。三半規管に入り込んだ耳石を卵形囊(らんけいのう)に戻す耳石置換法で8~9割は改善される。また「水平(外側)半規管型良性発作性頭位めまい症(クプラ結石症)」という病気もある。クプラとは、外側半規管内にあり、加速度センサーとして働いている部分のこと(図2)。ここはネバネバしていて、耳石が付着するとなかなかはずれない。その耳石の重さのせいでクプラが刺激され、内耳への刺激が継続することになる。同院では耳石をクプラからはずすために、ウォーターベッド形マッサージ器による頭部振動刺激を加えた後に、非特異的理学療法を行う。そのため、眼振(異常な眼の動き)とめまい症状の改善までの日数を短縮できた。一回の治療で5~6割の人が改善される。

難治性メニエール病には 中耳加圧療法

同院では約15%を占める「メニエール病」は聴力の変動、問診、眼振検査で診断できる。薬物療法がメインだが、難治性には「中耳加圧療法」が有効だ。重症の場合、保健適用となり、同院では20名の患者に適用された。

また約10%を占める「前庭性片頭痛」は問診で診断でき、片頭痛予防薬で治療を行うが、頭痛に関してはやや難治性である。

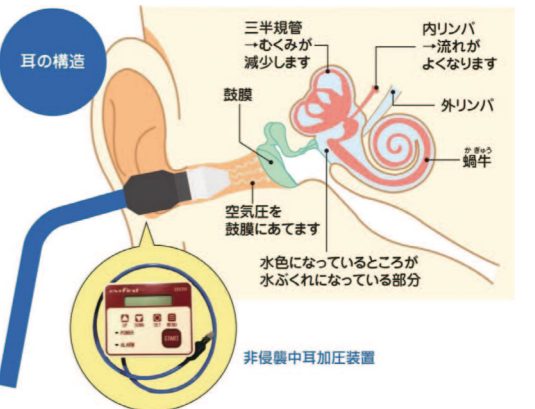


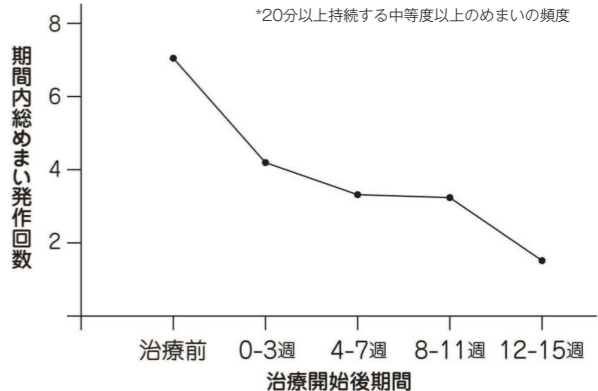
表2 メニエール病重症度分類

重症度	説明
0点	正常
1点	日常活動が時に制限される(可逆性の平衡障害)
2点	日常活動がしばしば制限される(不可逆性の軽度平衡障害)
3点	日活動が常に制限される(不可逆性の高度平衡障害)
4点	日常活動が常に制限され、暗所での起立や歩行が困難(不可逆性の両側性高度平衡障害)
注	不可逆性の両側性高度平衡障害とは、平衡機能検査で両側の半規管麻痺を認める場合。
0点	正常
1点	可逆的(低音部に限局した難聴)
2点	不可逆的(高音部の不可逆性難聴)
3点	中等度進行(中等度以上の不可逆性難聴)
4点	両側性高度進行(不可逆性の両側性高度難聴)
注	不可逆性の両側性高度難聴とは、純音聴力検査で平均聴力が両側70dB以上で70dB未満に改善しない場合
0点	生活指導のみで経過観察を行う。
1点	可逆性病変に対して保存的治療を必要とする。
2点	保存的治療によっても不可逆性病変が進行する。
3点	保存的治療に抵抗して不可逆性病変が高度に進行し、侵襲性のある治療を検討する。
4点	不可逆性病変が高度に進行して後遺症を認める。

表3 メニエール病総合的の重症度

		A	B	C
ステージ1	準正常期	0点	0点	0点
ステージ2	可逆期	0~1点	0~1点	1点
ステージ3	不可逆期	1~2点	1~2点	2点
ステージ4	進行期	2~3点	2~3点	3点
ステージ5	後遺症期	4点	4点	4点

国内治験における平均めまい発作回数*の推移



医療法人社団松吉会 松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック

TEL.0964-33-4133
URL <https://www.matsubase-cl.com>

所 宇城市松橋町きらら2-2-15
P 120台
●院長/松吉秀武 ●医師数/常勤3名
●検診/一般検診、特定健診、その他(睡眠時無呼吸の診断)

2022年1月に分院として
『くまもと南耳鼻咽喉科クリニック』が開院
(熊本市南区城南町隈庄943-1 TEL.0964-25-3387)

- 診療科目 ●耳鼻咽喉科 ●内科 ●アレルギー科
●小児耳鼻咽喉科 ●めまい外来他

診療時間	△は14:00~16:00						
	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	×
14:00~18:00	○	○	○	○	○	△	×

*祝日は休診 *内科は月曜~土曜9:00~12:00/14:00~16:00(金曜午後は12:00~14:00、木・日曜休診) *日曜診療はHP参照